

資料 12-2
H21.03.17

新滝ヶ洞溜池の水質異常に係る対策協議会
第12回対策協議会

協議会への意見質問

協議会への意見質問

No.	日付	住所	意見	対応	委員への提示
59	2008/10/23(木) 第11回協議会会場の意見箱にて	可児市大森 T氏	今回の協議会の内容は、そこに住んでいる住民にとって、何ら建設的な話がなかった。むしろ、不安が増す会議だったと思う。特に、滝口さんは直下に住む人として、豪雨の時の安全についてのシミュレーションを要望された事に関して、市役所が議事の進行と関係ないとしてしりぞけようとした事は、行政を預かる人の発言かと耳を疑った。住民が不安を抱いている事に対し、誠意をもって対応するのが行政の役割であり、この会議に提案された事もごく当たり前の事である。とても不信感を持った。他にも誠意のない回答が多かった。	覆土工による降雨の流出については、当初盛土計画時点より流出係数を1と考え、降雨が100%表面水として流れ出すことを前提に調整池容量を確認しています。したがって覆土工による流出量の変化はありません。また、ゲリラ豪雨等の集中豪雨については、この箇所だけの問題ではなく、協議会において述べたとおり全市的な対策について検討を進めるべきことと考えています。	第12回対策協議会に委員へ提示